

勝林寺報

仏法さまにお出会いし



お念佛のなかでありますとそのひとと出会
わせて戴くのじゃ。
それが法事ということをおっしゃる。

私は、お説教を聞きながら、涙が止まらない
ではない、私の、わたしのあの妻が、ありあ
りと感じられ、「おとうさん、がんばってよ」
とわたしを励ましてくれるのです。ありあり
と。……。

ほとけさまのおよびごえの中では、いつで
ある人は一緒に

実は私、今日「みなみか」(三七日)が勤
まっている、亡くなった彼とは、小学校から
の同級でありますし、おたがい四〇歳すぎ
てから偶然同じ会社に勤務することになった
のでした。

しかも、わたしが妻をなくして毎日自殺を
考えていたときなど、ほんとうに親身になっ
て励ましてくれたのは彼であります。その
彼が、突然の災害で、先へ逝ってしまいました。その
大変なショックです。

ショックですが、お葬式から一ちら七日七
日のお説教で、あるうちに、ことばはへ
んですが、とても「勇気づけ」られたのです。

と言いますのは、ご院家さまはまず七日七
日のお説教で、

葬式も法事もこれは人事ではない。亡くなっ
た人の死を縁にして「しかばこのわたくし
は」とあらためて自分に目を向けていた
だく。これがなければ仏教ではない、仏事法
事ではないとおっしゃつて下さいました。

それから次ぎにご院家さまは、「お別れの
行事」「告別の嘗み」であつてはならぬ。
亡くなつた人と、あるいは一三年・三十三
年昔に亡くなつたお方とも、新しい出会いを
持たせて戴く。

年が立ち時が過ぎるに従つて、今まで見え
なかつたその人と新しい出会いがうまれる
ものじゃ。

お釈迦さまは「同じ道を行く人よ」とか「共に歩
む人よ」とお弟子たちを呼ばれました。お釈
迦さまは「親鸞は弟子一人も持たず」と言い、僧
といわざ俗といわざ共に同心にお念佛に生きよう
はないかと願われました。蓮如さまはいつでもお同
行と「同座」して信心を語つてくださいました。
お念佛を中心に誰もが語り合える。それが「てら
(寺)」です。かつては「家」も「村」も「社会」
ところが最近、人と人との絆(キズナ)が切れて
もすべてそうでした。

だれもが真剣に考え、できることから始めなけれ
ばなりません。
今まで積み上げてきた工夫のうえに、なおりつ
そう衆知・総力をあげて兵庫教区御同朋総結集一
万人大会を開催します。

10月31日(日)

神戸ウイングスタジアムで

お一人お一人おこころづもり下さい。

念佛奉仕団

五月のことよみ

誕会
(ごうん)
5月22日(土曜日)

午後2時 法要開始

おつとめ

研修会

午後4時頃より おつまみ程度の懇親祝賀会

お参り下さい。

江戸幕府が天下を支配し、地方は「藩」は、
それぞれ大名名(お殿さま)が政治を行つて
いた時代からこの「念佛奉仕団」はあります
た。その時代には、地方地方に「講」とよばれ
るそれぞれの目的をもつた自治的なグループ
がつくられました。「頼母子講」であるとか
「悼講(イタコウ)」などです。

浄土真宗の地域には、「念佛講」「本山講」など
「お寄り講」などが作られましたし、とくに
女性たちによって「女中講」「最勝講」など
いう活動が活発に行われておりました。

その主な目的は、定期的に寄り合いを持ち、
「ご法義相続」をすることでした。「おより
さん」には男女老若相寄つて、お正信偈をあ
げお念佛の喜びをともにしたのです。その「講」はまた、それぞれ独特な行事を
作り出していきました。

その講独自や、また近隣の講と連携して、
又、多くはその土地の寺院と連絡を取つて、
(有名なお説教使を招いて)「法座」をもよ
おすこともありました。

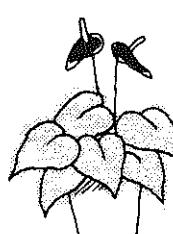
またその地方でその年亡くなった方のお骨
を代表者がもつて年々交替で京都の大谷本廟
(親鸞さまのお墓)へ納骨しました。もちろん
そのときには本山西本願寺にもお参りいた
しました。

昔の真宗門徒は、それぞれの家にはそんな
に壮大なお墓は持たず(小石程度の墓しか
持たず)全員大谷本廟に納骨したようです。

又、例えば、ご本山で大法要の勤まる時、
あるいは、工事が行われるとき、そんなとき
には、集団を組んで奉仕活動に出掛けていき
ました。

て今に、「こここの練り塙はうちの講が奉仕し
てつくった」などとい伝えられております。
「お仏飯講」「お華講」などというのは現
在もつづけられています。

戦後しばらくして、出石組は念佛奉仕団を
始めました。前々住職坊守、とくに前瞭子坊
守は毎回熱心に推進しておりました。



二日	数森 昭氏宅法事
六日	兼井元三郎氏宅祥月
七日	出石組仏社会長会
八日	P.T.A.総会
十日	平田專福寺永代経法座
十一日	平田專福寺永代経法座
十二日	幼P.T.A.
十三日	宗学院
十四日	朗誦ボランティアあすなろ(編集)
十五日	日高役場
十六日	平野 稔氏宅法事
十七日	宗学院
十八日	検診
十九日	西宗寺永代経
二十日	出石組念佛奉仕団
二十一日	降誕△云(こうたんえ)
二十二日	出石組念佛奉仕団
二十三日	みのりを聞く会
二十四日	平野 稔氏宅法事
二十五日	出石組念佛奉仕団
二十六日	出石町役場
二十七日	西宗寺永代経
二十九日	宗学院
三十日	西宗寺永代経

孫へのねがい

子育て最中の主婦



こないだうちから、まるで「つきもの」に
とり憑かれたように、お仏壇の大きな引き出
しの中のものを抜け散らして、漁るように読
み調べております。

出てくるのは主に先々代、昭和二十六年に
亡くなつたおじいちゃんのものであります。

戸籍謄本や土地の賃貸証書、子供たちの卒
業証書や通信簿、様々雑多ですが、其のなか
で一つ、わたしの心を強烈に揺さぶつたもの
がございました。

それは、三男の男の子に、小学校入学のと
きにあてたおじいちゃんのお祝いの手紙であ
りました。

(実はおじいちゃん、此のお手紙、あるホ
テル経営の偉い方が、お孫さんあてに出さ
れたものをお借りしました。でも、このお手
紙のこころは私と同じです。おじいちゃんの
じかのお願いと思って聞いてください)と、
手紙の最後に書き添えてありました。
ないおじいちゃんの真実が響いて来るよう
も思えます。

おじいちゃんが入院してから、せんばづる
をおつてくれたり、おみまいのてがみをか

いたり、ようちえんの「そつえんしょうしょ
も見せてくれたネ。
そのたびに、おじいちゃんはうれしく才モ
イいました。ありがとうございました。
しかしおじいちゃんが、あなたのおてがみ
より、さくらのえより、もつとよろこぶこと
は、なにかしていますか?

それはあなたが、まいあさがつこうにいく
とき、ほとけさまにお参りして、「なむあ
みだぶつ」と、ごあいさつをしてくれること
です。

「なむあみだぶつ」は、よのなかを明るく
照らし、いつでもどこでもだれでもまもつて
くださるたいへんりっぱなほとけさまです。
なをよべばよんだその人のところにすぐき
てくださいます。

おじいちゃんといつしょによんでもみましょ
う。

おててをあわして、ここをだしてください
なむあみだぶつ ほら、いえたでしょ。
なむあみだぶつが あなたのところにきて
下さいました。

赤茶化た古い古い原稿用紙のなかから、私
話には聞いていても会つたつたことのない昔
の人の、子や孫への切々とした願いを聞き取っ
て、わたし、しばらく涙したことでした。

☆ ☆

赤茶化た古い古い原稿用紙のなかから、私
話には聞いていても会つたつたことのない昔
の人の、子や孫への切々とした願いを聞き取っ
て、わたし、しばらく涙したことでした。

御旅程表

2004年4月1日
Ntour(株)農協観光代理業
JAたじま旅行センター
TEL0796-24-8200
FAX0796-24-8211

勝林寺研修旅行 御一行様

御一行 40名様 全行程 1泊2日

期日	行 程	宿泊予定ホテル
7/10 (土)	但東町====福知山=====丹波やまがたや=====丹波LP===(京都縦貫道)===沓掛LP=====西本願寺= 7:30 9:00 10:00 10:30 =====大谷廟=====リーガロイヤルホテル京都=====伏見ノ日野誕生院=====月桂冠大倉記念館===== 10:50 11:20 11:40(ランチハイキング)13:00 13:30(参拝) 14:10 14:30(見学) 15:30 =====京都南IC=====京都東IC=====バイパス・湖西道路=====琵琶湖畔温泉(泊) 16:30頃	琵琶湖グランド ホ テ ル 077-579-2111
7/11 (日)	(大新撰組展)	
	ホテル==(奥比歓ドライブウェイ)==比叡山(横川)==(比叡山ドライブウェイ)==靈山歴史館=====八つ橋庵としゅうやかた= 8:30 9:20(参拝)10:20 11:20(見学) 12:00 12:30(昼食) 13:30 =====四条烏丸ノ六角堂=====京都南IC=====吹田JC=====福知山IC=====但東町 14:00(見学) 14:40 16:00 18:00頃	
※交通機関の都合により旅行日程を一部変更する場合がございます。予めご了承ください。		< Dコース >
記入例	バス ===== 列車 ----- 船 ~~~~~ 航空機 ⇒⇒⇒⇒ 徒歩	作成者 永井 美紀

例年恒例の「納骨参拝研修旅行」を上記日程にて行います。

☆詳しい「募集要項」は、後日お知らせします。おこころづもりの
うえ今年も多数ご参加下さい。